

## 第 16 回埼玉県母性衛生学会総会・学術講演会プログラム

1. 日 時 平成 11 年 11 月 5 日 (金) 午後 2 時開会
2. 場 所 埼玉県県民健康センター 2 階大ホール  
浦和市仲町 3-5-1 電話 048-824-4801
3. 次 第 埼 玉 県 母 性 衛 生 学 会 総 会 (14:00~14:20)

報 告 事 項  
埼玉県母性衛生学会学術講演会 (14:20~17:25)

会 長 挨 拶 埼玉県母性衛生学会会長 木 下 勝 之

演 題

### 1) 思春期の栄養と分娩産褥の工夫 (14:20~15:00)

座 長 安 藤 昭 彦 (大宮赤十字病院)

- 1 女子学生の食生活の実態と栄養を考えた食事計画について  
—教育的かかわりを通して—  
埼玉県立大学短期大学部看護学科  
○坂本めぐみ、兼宗美幸、松村恵子、渡部尚子
- 2 乳清中に含まれる Vascular endothelial growth factor について  
獨協医科大学越谷病院産婦人科  
○星本和倫、小池和範、星本和種、友部勝実、矢追正幸、渡部秀樹  
堀中俊孝、三ツ矢和弘、榎本英夫、林 雅敏、大蔵健義
- 3 QOL を考えた自己導尿確立への援助方法について  
埼玉医科大学南館 3 F 婦人科病棟  
○横川知衣子、平田恵美、森 直美、金子やす子
- 4 分娩体位の工夫  
～マックロパーツの体位を試みて～  
防衛医科大学校病院産科病棟  
○二上恵理子、高橋常子、佐藤節子  
同 産婦人科教室 ※埼玉医科大学総合周産期母子医療センター  
古谷健一、村山敬彦※、永田一郎  
同 分娩部  
黒田浩一、小林充尚

## Ⅱ) 母子保健活動

(15:00～15:30)

座 長 渡 部 尚 子 (埼玉県立大学短期大学部)

### 5 地域での子育て支援活動の取り組み

—ピアサポート子育ての会の支援を始めて—

深谷赤十字病院産婦人科病棟

助産婦

○田島恵子

### 6 新生児、妊産婦訪問活動に参加して

—施設の助産婦としてできること—

深谷赤十字病院

助産婦

○根岸喜代子

### 7 助産婦による子育て支援活動の報告

—大宮市における「対話のできる母乳育児教室」を通して—

埼玉県立大学短期大学部

○駒林千春

日本助産婦会埼玉支部

関岡由美子、山田美津枝、斉藤悦子

## Ⅲ) 妊産褥婦への新しい試み

(15:30～16:00)

座 長 北 井 啓 勝 (埼玉社会保険病院)

### 8 出産後の疲労を軽減するためのアロマセラピーの取り入れ

大宮赤十字病院産科病棟

○関根千江、大森美代子、小野寺明美、小林淳子、斎藤和子

### 9 ソフロロジー式イメージトレーニングの産婦に対する効果の検討

木野産婦人科医院

○清水みちこ、富士田理恵子、木野秀郷

### 10 褥婦に対するアロママッサージの効用についての検討

埼玉社会保険病院

○滝口久美、佐藤奈美、岩佐美智代、奥瀬 忍、大矢ノリ子、伊藤仁彦

【コーヒーブレイク】 (16:00～16:15)

#### IV) 異常出産に対する心のケアー

(16:15～16:55)

座 長 小田切房子 (埼玉県立大学短期大学部)

##### 11 当院で経験した48歳初産婦の一症例

越谷市立病院産婦人科病棟

- 大澤祐子、堀米千恵、涌井純子、新井としゑ、山崎サワ子  
同 産婦人科  
金子隆弘、山本 勉

##### 12 胎児異常を指摘され出生後にダウン症と診断された1事例を通し精神的援助について考える。

～危機モデルを用いて～

浦和市立病院

- 木村友美、市川ひろみ、永澤規子、福井谷達郎

##### 13 分娩時に様々な問題が予想された心疾患・喘息合併若年妊婦との関わり

埼玉県厚生連熊谷総合病院分娩室

- 瀬山澄江、塚本伊都子、豊島君代、金澤恵美子、畑山八重子  
津野ミヨ子  
同 3階病棟  
高橋美沙子、松本すづ江  
同産婦人科  
佐久間 洋、白石真人

##### 14 緊急帝王切開分娩褥婦の心理的变化とその望まれる看護

川口市立医療センター

- 有賀詩能子、目時由里、栗原夕里子

#### V) エモーショナルサポートの体制づくり

(16:55～17:25)

座 長 大 藏 健 義 (獨協医科大学越谷病院)

##### 15 被虐待体験が母性行動に与える影響

―出産直後の調査と3M乳児健診から―

医療法人こうぬま会こうぬまクリニック精神科医

- 鈴木仁史  
木野産婦人科医院心理士  
新屋照江

16 母児分離の母親の心理

—母親の思いをふまえた看護を考える—

防衛医科大学校病院産科病棟

○橋本和恵、小原直美、宮下ゆかり、宮崎路子、佐藤節子

同 産婦人科

古谷健一、永田一郎

17 これからの妊産褥婦の健康管理システムに関する研究

埼玉医科大学総合医療センター3階西病棟

○谷島春江、船生真紀、景山直子、神田千恵、白石道子、松本幸子

同 産婦人科

臼井真由美、林 正敏、小林浩一、竹田 省、木下勝之

閉 会 の 辞          埼玉県母性衛生学会副会長          永 田 一 郎

◎一般演題の講演時間は1題につき7分、討論時間3分にてお願いいたします。

◎産婦人科医師には日本産婦人科学会研修受講フルシールを発行いたします。

◎学会参加費1,000円を受付にて申し受けます。(年会費1,000円)